

I 生涯健康都市

生涯健康都市

政策01 生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現

- 親子の健康推進【再掲】
- 児童生徒の健康づくりと体力向上【再掲】
- **青壮年期の健康増進** (P 8)
- 介護予防の推進【再掲】
- 高齢者の社会参加の促進【再掲】
- スポーツの推進【再掲】
- **健康危機管理体制の整備** (P 1 2)
- **地域医療の充実** (P 1 4)
- **健康を支える保険・医療体制の適正な運営** (P 1 5)

政策02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

- **高齢者の社会参加の促進** (P 1 7)
- **介護予防の推進** (P 1 9)
- **高齢者の在宅生活の支援** (P 2 1)
- 介護サービス基盤の充実
- **高齢者の住まいの確保** (P 2 3)
- **在宅医療・介護の連携推進** (P 2 4)
- **障がい者の相談・支援体制の充実** (P 2 6)
- **障がい者の住まい・日常生活に対する支援** (P 2 8)
- **障がい者の就労支援・生きがいの創生** (P 3 0)
- **障がいのある子どもの健全育成** (P 3 2)
- **バリアフリーの推進** (P 3 4)
- 低所得者の自立支援
- 福祉の基盤整備

囲みは、重点施策

施策名

「青壮年期の健康増進」



目的・方向性

心身の健康は幸せな人生の礎であることから、健康的な生活習慣が形成されるよう、若いうちからの健康づくりの重要性を普及啓発し、生涯にわたり健康で充実した人生を送ることができるよう支援を行います。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
健康状態がよいと感じる区民の割合	42%	43%	44%	45%	51.9%
健康寿命 (男性)	80.58 歳	80.63 歳	80.68 歳	80.73 歳	82.22 歳
健康寿命 (女性)	82.68 歳	82.73 歳	82.78 歳	82.83 歳	83.53 歳

重点事業 (計画事業)

事業名	糖尿病対策推進事業				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命延伸のため、糖尿病と他の生活習慣病や歯周病との関連性や、血糖をコントロールする意義について、普及啓発を図ります。 相関性の高いロコモティブシンドロームの普及啓発等により、糖尿病対策の更なる充実を図ります。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
糖尿病の疑いのある人 (男性)	32.2%	31.7%	31.2%	30.7%	
糖尿病の疑いのある人 (女性)	25.0%	24.5%	24.0%	23.5%	
ロコモティブシンドロームの認知度	40.3%	41.3%	42.3%	43.3%	

事業名	健康づくり支援事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 自分に適した健康づくりの方法を主体的に選択して生活習慣改善に継続して取り組むNo!メタボチャレンジャー事業を実施します。 生活習慣病予防や健康づくりに取り組むきっかけづくりを目的に講座を実施するとともに、地域団体等の依頼により区民の身近な場所に向き健康教室や健康相談を行います。 グループによる健康づくりの振興を図るため、自主グループの活動を支援します。 こころの健康については、正しい知識や対処方法を普及啓発し、医療機関や相談機関で早い段階で支援が受けられるよう、専門医による精神保健相談や保健師による相談を充実させます。 心身共に健康であるために「バランスのとれた食生活」、「十分な睡眠」、「適度な運動」の重要性について普及啓発を進めます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
運動や食生活等の生活習慣改善意欲がある人の割合(男性)	64.9%	65.4%	65.9%	66.4%
運動や食生活等の生活習慣改善意欲がある人の割合(女性)	66.7%	67.2%	67.7%	68.2%
メタボリック症候群の人の割合(男性)	49.9%	49.0%	48.0%	47.0%
メタボリック症候群の人の割合(女性)	17.5%	17.0%	16.5%	16.0%
あらかわ No メタボチャレンジャー修了者(累計)	3,578人	4,500人	5,500人	6,500人

事業名	受動喫煙防止対策・禁煙対策			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止対策と禁煙対策を行うことで、がん予防、生活習慣病予防やたばこの煙が周囲の人に及ぼす健康被害の予防を図ります。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
禁煙チャレンジ応援プラン修了者	73人	75人	77人	80人

政策 01：生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現

事業名	あらかわ満点メニュー			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 生涯健康都市の実現に向けて、働き盛り世代の早世を減らすため、区内飲食店において健康に配慮された食事がとれるよう食環境整備の一環として実施します。 女子栄養大学短期大学部と区内飲食店及び荒川区が連携して、「安くて・おいしくて・ヘルシー」をコンセプトにお店の味を生かしながら、健康に配慮されたメニューを提供して、幅広い年齢層への支援にもつなげます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
満点メニュー提供店	50店	実施	実施	実施
満点メニュー数	102メニュー	実施	実施	実施

事業名	荒川ころばん体操			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域の身近な会場において、転倒予防を目的とした荒川ころばん体操を継続して行い、転倒予防だけでなく一人でも多くの区民が介護予防に取り組めるよう支援します。 閉じこもり予防、並びに健康な地域づくりの醸成も推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
荒川ころばん体操事業	250人	550人	1,000人	1,500人

事業名	がん検診			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 検診によりがんを早期に発見することでがんによる死亡率減少につなげます。 がんに関する正しい知識を普及啓発し、がん予防と適切な医療につなげることを推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
がん検診受診者数	61,600人	向上	向上	向上

事業名	胃がんリスク検査（ABC健診）			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 区民が自らの胃がんリスクを知ることで、胃がんに対する意識向上と胃がんによる早世の予防のための胃がん検診受診のより一層の促進を図ります。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
受診者数	1,850人	1,900人	1,940人	1,990人
受診率	10.1%	10.5%	10.8%	11.2%

施策名

「健康危機管理体制の整備」



目的・方向性

新型コロナウイルス感染症への対応、結核・麻しん等、その他感染症の予防・まん延防止等に取り組みます。また、医薬品や食品等に起因する健康被害や食中毒等の拡大防止を図り、区民の良好な生活環境を維持します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
結核り患率	19.0%	19.0%	19.0%	19.0%	19.0%
喀痰塗抹陽性初回失敗脱落割合 (※1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
麻しん風しん(第1期 荒川区)接種率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
食中毒事件数	0件	0件	0件	0件	0件

※1 結核の治療において、初回の治療期間中(概ね6~9カ月間)に副作用や転居等により完治に至らない患者の割合

重点事業(計画事業)

事業名	感染症予防対策事業			
実施方針	・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関し、必要な措置をとることにより感染症の発生予防及びまん延の防止を図ります。			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
入院勧告	546人	実施	実施	実施
就業制限	1,951人	実施	実施	実施
ワクチン接種体制の整備	体制整備	実施	実施	実施

事業名	新型コロナウイルス感染症対策を行う医療機関への支援			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 区民が安心して身近な地域で新型コロナウイルス感染症に係る検査や治療を受けられるよう、診療・検査を行う医療機関への支援を行うとともに区独自の病床を確保します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
診療・検査が可能な 診療所数	40	50	60	70
病床確保数	12	14	検討	検討

施策名

「地域医療の充実」



目的・方向性

休日等における軽症の急病患者に対応する初期救急の体制を整備し、区民の安心と疾病への早期対応を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
休日診療平均受診者数	28.0人	実施	実施	実施	-
準夜間診療平均受診者数	8.0人	実施	実施	実施	-
休日歯科診療平均受診者数	4.0人	実施	実施	実施	-
日曜日柔道整復施術受診者数	1.9人	実施	実施	実施	-

重点事業 (計画事業)

事業名	新病院の誘致及び支援				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 東京女子医科大学東医療センターの移転に伴い、新たな病院を誘致し、運営を一部支援することで、区内の医療環境及び災害拠点機能の充実を図ります。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
新病院の誘致・支援	検討	一部開設	全面開設	実施	

施策名

「健康を支える保険・医療体制の適正な運営」



目的・方向性

区民が安心して医療を受けられるよう、保険・医療制度の的確な運営に努めるとともに、糖尿病をはじめ生活習慣病の予防や重症化の遅延など、医療費の適正化を推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
特定健康診査受診率	49.0%	51.0%	53.0%	60.0%	60.0%
ジェネリック医薬品普及率	70.6%	72.0%	74.0%	76.0%	80.0%
ジェネリック医薬品による医療費削減額 (累計) (※1)	1,254,962 千円	1,427,760 千円	1,600,558 千円	1,773,356 千円	2,291,751 千円

※1 医療費の削減額は、平成25年6月利用差額通知送付からの累計。

重点事業 (計画事業)

事業名	特定健康診査・特定保健指導事業				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の早期発見・予防のため、特定健康診査・特定保健指導を実施します。 特定健康診査未受診者を抽出し、きめ細かく受診勧奨を行うことにより、受診率を高めます。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
特定健康診査受診率	49.0%	51.0%	53.0%	60.0%	
特定保健指導実施率	24.0%	26.0%	28.0%	60.0%	

I 生涯健康都市

事業名	データヘルスの推進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者のレセプトや特定健診結果の分析結果を踏まえ、効果的・効率的な保健事業（データヘルス）を実施します。 生活習慣の改善により糖尿病の重症化の予防・遅延が見込まれる被保険者を抽出し、食事や運動等に関する保健指導を行います。 レセプトから生活習慣病の治療を中断している疑いのある被保険者を抽出し、医療機関受診勧奨を行います。 ジェネリック医薬品の更なる利用を促進するため、ジェネリック医薬品利用差額通知の送付や、普及啓発グッズ等を用いた普及啓発活動を展開します。 健康づくり活動などへの参加インセンティブを提供する取組の導入やアプローチ方法の工夫などにより、健康問題に無関心な層の健康づくりへの関心を惹起するよう努めます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
糖尿病等重症化予防プログラム参加者数	20人	30人	40人	40人
生活習慣病治療中断者への医療機関受診勧奨	200人	200人	200人	200人
ジェネリック医薬品差額通知の送付	14,000通	14,000通	14,000通	14,000通
健康づくり活動への参加インセンティブ提供事業	2事業	2事業	2事業	2事業

施策名

「高齢者の社会参加の促進」



目的・方向性

就労やボランティア活動、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等、高齢者一人一人が自ら希望する形で社会に参加し、生きがいを実感しながら、充実した生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加を促進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
シルバー人材センター会員数	1,724人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人
荒川シルバー大学受講者数	※1 1,049人	※1 1,050人	※1 1,050人	※1 1,050人	※1 1,550人
高年者クラブ加入人数	5,891人	6,000人	6,050人	6,100人	7,050人

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降も同感染症の影響による指標数の減少が見込まれる。

重点事業 (計画事業)

事業名	高年者団体の活動支援				
実施方針	・ 高齢者が自主的に運営している団体を支援することで、地域活動への参加を促進します。				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
荒川シルバー大学開催教室数	※1 35教室	※1 35教室	※1 35教室	※1 35教室	
荒川区高年者クラブ数	75クラブ	75クラブ	75クラブ	75クラブ	

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降も同感染症の影響による指標数の減少が見込まれる。

政策 02 : 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

事業名	シルバー人材センターの支援			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 荒川区シルバー人材センターの事業、受注拡大等を支援するとともに周知活動を充実させます。 働く意欲のある方へ適切な情報提供を行います。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
シルバー人材センター受注件数	※1 6,991 件	※1 7,000 件	※1 7,000 件	※1 7,000 件
就業実人数	※1 1,086 人	※1 1,100 人	※1 1,100 人	※1 1,100 人
働く高齢者への情報提供	高年者クラブや来庁者へ会員募集等の情報提供を実施	推進	推進	推進

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による指標数の減。令和3年度以降も同感染症の影響による指標数の減少が見込まれる。

施策名 「介護予防の推進」



目的・方向性

健康寿命の延伸のため、誰もが積極的、自主的に多様な介護予防活動に取り組めるよう支援します。

また、認知症に対する区民の理解を促し、早期発見・早期診断・早期治療を通して、症状の進行を遅らせることや症状が軽いうちに今後の生活の備えをすること等により、在宅生活を続けることができる体制を整備します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
要介護等認定者 出現率(65歳～74 歳)	4.9%	5.1%	5.1%	5.0%	4.9%
要介護等認定者 出現率(75歳以 上)	30.8%	31.9%	32.4%	32.2%	31.9%
認知症サポーター 数(累計)	15,311人	15,627人	16,127人	16,727人	18,527人

重点事業(計画事業)

事業名	介護予防事業の推進				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ ころばん体操をはじめ、運動機能の向上、栄養改善、口腔機能向上等様々な介護予防事業を充実します。 ・ 身近な地域の中で通う場を創出し、自主的な参加を促すことで、社会からの孤立化、閉じこもり等を予防します 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
介護予防普及啓発事 業参加者数(延べ)	※1 5,869人	※1 7,060人	※1 7,331人	※1 7,602人	
生活機能向上集中型 通所事業利用者数 (延べ)	※1 3,468人	※1 4,037人	※1 4,252人	※1 4,489人	

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策実施による指標数の減。令和3年度以降は徐々に回復を見込む

政策 02 : 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
生活機能向上型訪問事業 利用者数 (延べ)	1,165 人	1,276 人	1,401 人	1,486 人
荒川ころばん体操 (荒川区健康づくり体操) 動画再生回数累計	40,000 回 (平成 30 年 2 月からの累計)	50,000 回	60,000 回	70,000 回
いきいきボランティアポイント制度の登録者数	※2 690 人	※2 703 人	※2 703 人	※2 703 人

※2 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策実施による指標数の減。令和 3 年度以降は同等規模の維持を見込む。

事業名	認知症の普及啓発及び早期発見・早期治療の推進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 創作活動や運動、ゲーム等様々な活動を通して脳の活性化を図る認知症予防のための教室を実施します。 区民の認知症への理解を深めるために、認知症予防講演会や認知症サポーター養成講座等を行います。 相談体制を充実するとともに、医療機関との連携を強化し、より一層早期発見・早期治療の体制を整備します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
認知症予防通所等サービス事業参加者数 (延べ)	※1 1,508 人	※1 3,726 人	※1 3,726 人	※1 3,726 人
認知症キャラバン・メイト数	329 人	347 人	347 人	367 人
認知症カフェの参加者数 (延べ)	※1 598 人	※1 3,000 人	※1 3,000 人	※1 3,000 人
認知症・うつ専門相談及びものわすれ相談利用者数 (延べ)	※1 116 人	※1 127 人	※1 138 人	※1 149 人
認知症初期集中支援チーム事業	実施	実施	実施	実施

※1 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策実施による指標数の減。令和 3 年度以降は徐々に回復を見込む。

施策名

「高齢者の在宅生活の支援」



目的・方向性

高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービス以外にも、高齢者の在宅生活を支援する多種多様なサービスを提供していきます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
みまもり名簿 登録割合 (75歳 以上高齢者のう ち登録者が占め る割合)	17.9%	18.4%	18.9%	19.4%	21.5%

重点事業 (計画事業)

事業名	高齢者みまもり事業 (みまもりネットワーク事業、みまもりステーション運営事業)			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関と連携して高齢者に対する見まもりや安否確認を行い、在宅高齢者の安全、安心を確保します。 高齢者の孤独感を解消し、緊急時に迅速に対処する仕組みを整備します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
みまもり名簿登録者 数 (累計)	5,100人	5,120人	5,140人	5,160人
みまもりステーショ ン整備数	8か所	8か所	8か所	8か所

事業名	生活支援体制整備事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する個人や団体等の発掘や協力体制を図るとともに、自主的に実施している活動を継続して実施できるように支援するコーディネーターを配置します。 地域資源の調査・整理、及び地域課題を抽出し、既存の地域資源の活用を図るとともに事業の企画立案を行います。 社会福祉協議会と連携し生活支援サービスの担い手となる人材を発掘育成する仕組みづくりを行います。 地域に必要な生活支援サービスを提供できる体制を整備するため多様な主体で構成する協議会を設置します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
地域活動報告会の開催数	※1 1回	※1 9回	※1 9回	※1 9回
地域活動者(担い手)登録者数	135人	140人	140人	140人
生活支援協議会の開催数	9回	10回	10回	10回

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降は例年通りの事業を実施する予定。

施策名

「高齢者の住まいの確保」



目的・方向性

高齢者の多様な住まい、住まい方を実現するとともに、地域資源を活用しながらサービスを包括的に提供する「地域包括ケアシステム」により、高齢者がいつまでも住み慣れた地域において、安心して生活を継続できるような環境を整備します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
高齢者施設 (住居系)	38 施設	39 施設	41 施設	42 施設	42 施設

重点事業 (計画事業)

事業名	高齢者の住まいの利便性向上と施設の確保				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者入所施設については、認知症高齢者グループホームや特別養護老人ホーム等様々な可能性を検討し、施設の確保に努めます。 多様な住まいの充実を図る観点から、都市型軽費老人ホーム等の民間主導による整備についても、必要性を見極めながら支援していきます。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
特別養護老人ホーム	7 施設	7 施設	7 施設	7 施設	
都市型軽費老人ホーム	6 施設	6 施設	7 施設	8 施設	
有料老人ホーム	4 施設	4 施設	4 施設	4 施設	
認知症高齢者グループホーム	16 施設	17 施設	18 施設	18 施設	
高齢者住宅	5 施設	5 施設	5 施設	5 施設	

施策名

「在宅医療・介護の連携推進」



目的・方向性

地域の医療機関と介護サービス関連の事業者や関係機関との連携体制の下で、包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスの提供を行います。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
チームケア(※1)の 情報共有における連携シートの 活用率(※2)	95%	95%	95%	95%	100%

※1 医療と介護に関わる様々な職種が一つのチームとなり、必要なサービスを提供する体制。

※2 医療や介護のサービス利用者の状況や既往歴等、チームケアに必要な情報を記入するシートを情報共有のために活用している事業者の割合。(区内居宅介護事業者を対象とした「連携シートについてのアンケート」より。)

重点事業 (計画事業)

事業名	医療福祉相談事業				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の入退院や医療福祉制度に関する、家族や介護者、関係機関からの相談等に対応します。 在宅療養に必要な医療と介護の情報収集を行うとともに、関係機関等への情報提供を行います。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
医療福祉相談件数	750件	820件	860件	900件	

事業名	医療と福祉の連携推進事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護双方のニーズを持つ高齢者が、住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるように、必要なサービスを切れ目なく提供できる体制を構築するため、高齢者の在宅療養を支える医療機関や介護サービス事業者等の顔の見える関係づくりを推進します。 区内の医療及び介護資源の状況と今後の需要を分析し、不足している部分の強化など、医師会をはじめとした地域関係機関と連携し、在宅療養を支える体制整備を行います。 住み慣れた地域で安心して生活を送るために、在宅療養を支える体制整備や在宅での看取りの必要性などについて、区民の意識啓発を図る講演会を開催します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
関係機関における在宅療養の取組数	4件	4件	4件	4件
区民向け講演会の参加者数	※1 100名	※1 200名	※1 200名	※1 200名

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降は例年通りの事業を実施する予定。

施策名

「障がい者の相談・支援体制の充実」



目的・方向性

障がい者が、自らが望む生活を実現するために、個別の希望や要望に沿えるよう相談に応じ、支援していく体制の整備を進めていきます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
計画相談 ^(※1) 利用率	100%	100%	100%	100%	100%
アゼリア ^(※2) 及びコンパス ^(※3) の相談件数	27,959件	28,504件	28,565件	28,626件	28,820件

※1 障がい者一人一人に応じたサービス等利用計画（ケアプラン）を作成する手続。

※2 精神障害者地域生活支援センター。精神障がい者等の日常的な相談及び自主的な活動の場。

※3 精神障がい相談支援事業所。ピアカウンセラーを含む専門性の高い職員が精神障がい者等からの相談に応じ、社会復帰等を支援している。

重点事業（計画事業）

事業名	各種相談事業や関係機関間連携等の充実			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会において、地域社会で生活する上での課題について協議を進め、個別のニーズに応えられるよう、相談窓口を充実していきます。 精神障がい相談支援事業所において、ピアカウンセラーを含む専門性の高い職員がきめ細やかに相談に応じ、社会復帰等を支援していきます。 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、荒川区障害者基幹相談支援センターを設置し、地域における相談支援体制の充実を図ります。 障害福祉サービス等利用申請時の「サービス等利用計画」の作成、利用決定後の連絡調整及びモニタリングに対し計画相談支援給付費を支給し、円滑なサービス利用を支援します。 難病患者等に必要となる医療的ケアの提供も含め、保健所、医師会等の関係機関との連携を進めていきます。 関係機関との連携を緊密化し、介護保険と障害福祉サービスの円滑な連携を進めます。 アゼリア運営事業においては利用者がそれぞれの状態に合ったプログラムに参加することが可能となるよう、年齢や障がい状態に応じたプログラムを実施します。 障害者福祉会館（アクロスあらかわ）の活動内容を充実させるとともに、地域社会に開かれた施設となるよう施設公開や福祉避難所開設訓練等を行います。 障害者総合支援法及び児童福祉法で定められている利用者負担金について減免策を講じ、障害福祉サービス等の利用による家計への負担を軽減します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
計画相談 ^(※1) 利用率	100%	100%	100%	100%
アゼリア ^(※2) 及びコンパス ^(※3) の相談件数	27,959件	28,504件	28,565件	28,626件

※1 障がい者一人一人に応じたサービス等利用計画（ケアプラン）を作成する手続。

※2 精神障害者地域生活支援センター。精神障がい者等の日常的な相談及び自主的な活動の場。

※3 精神障がい相談支援事業所。ピアカウンセラーを含む専門性の高い職員が精神障がい者等からの相談に応じ、社会復帰等を支援している。

施策名

「障がい者の住まい・日常生活に対する支援」



目的・方向性

障がい者が、障がいの種別や重さにかかわらず、住み慣れた荒川区にいつまでも安心して住み続けられる環境を整備します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
区内グループホーム定員数 (知的障がい者)	80人	84人	89人	93人	110人
居宅介護月利用時間	6,089時間	6,006時間	5,923時間	5,842時間	5,604時間
生活介護施設定員数	129人	139人	146人	153人	168人
就労継続支援A型及びB型作業所定員数 (※1)	340人	360人	380人	400人	450人

※1 就労の機会を提供し、知識や能力向上のための訓練を行う事業のうち、A型は雇用契約を締結するもの、B型は雇用契約を締結しないもの。

重点事業 (計画事業)

事業名	親なき後支援事業等				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> グループホームを充実させるとともに、成年後見制度の利用の促進及び個人別ライフプラン事業を行うことにより、障がい者が住み慣れた荒川区で安心して暮らし続けることができるようにします。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
区内グループホーム定員数 (知的障がい者)	80人	84人	89人	93人	
個人別ライフプラン相談件数 (累計)	※1 100件	110件	121件	133件	

※1 新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。

事業名	障がい者の日中活動の支援			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービスを提供する事業者との連携を進め、サービスの質が向上するよう努めます。 ・ 生活介護施設の誘致を積極的に行うとともに、医療的ケアが必要となる重度の障がい者が安心して生活介護施設に通所できるよう、環境整備を進めます。 ・ 日中活動系サービス^(※1)を行う区内事業者を支援し、障がい者の日中の活動場所の確保を図ります。 ・ 尾久生活実習所及び荒川生活実習所運営事業においては、18歳以上の知的障がい者が、日中に創作・作業・レクリエーション活動等を通じて地域で自立した生活を送れるようにします。 ・ 荒川福祉作業所運営事業においては、一般就労が困難な心身障がい者が、継続的な作業活動及び生活能力向上等の支援を通じて、地域で自立した生活を送れるようにします。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
生活介護施設定員数	129人	139人	146人	153人
就労継続支援A型及びB型作業所定員数 ^(※2)	340人	360人	380人	400人

※1 生活介護、就労移行支援、就労継続支援などの障がい者の昼間の活動を支援するサービス。

※2 就労の機会を提供し、知識や能力向上のための訓練を行う事業のうち、A型は雇用契約を締結するもの、B型は雇用契約を締結しないもの。

施策名

「障がい者の就労支援・生きがいの創生」



目的・方向性

障がいの種別や程度にかかわらず、個々の能力や適性を十分に発揮して、社会の一員としての役割を持ち、障がい児者の自己選択・自己決定が尊重される共生社会を目指します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
じよぶ・あらかわ登録者数	580人	619人	662人	709人	800人
じよぶ・あらかわを通じた一般就労者数(※1)	294人	298人	303人	308人	340人
就労移行支援事業等(※2)による一般就労移行者数	44人	47人	50人	54人	63人
アクロスあらかわ利用者数(延べ)	※3 12,474人	※3 21,705人	※3 37,766人	※3 65,000人	※3 67,000人

※1 じよぶ・あらかわでの新規就労者数(人/年) + 就労継続者数(人/年)。
 ※2 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型を行う事業(給付対象事業)。
 ※3 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降は徐々に回復を見込む。

重点事業(計画事業)

事業名	障がい者就労支援センター(じよぶ・あらかわ)運営事業				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の一般就労を進めるため、将来就労を目指しているまたは現在就労している障がい者、障がい者を雇用しているまたは雇用希望のある企業からの相談に応じるとともに、職場定着への支援等を進めます。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
じよぶ・あらかわ登録者数	580人	619人	662人	709人	
じよぶ・あらかわを通じた一般就労者数(※1)	294人	298人	303人	308人	
就労移行支援事業等(※2)による一般就労移行者数	44人	47人	50人	54人	

※1 じよぶ・あらかわでの新規就労者数(人/年) + 就労継続者数(人/年)。
 ※2 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型を行う事業(給付対象事業)。

事業名	障がい者の就労支援と作業所の充実			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 就労を希望する障がい者に対し、訓練や職場定着支援等を進めます。 作業所間の連携を密にし、作業発注企業の新規開拓や共同受注、受注調整等を進めます。また自主製品の開発や販路の拡大への取組を支援します。 作業所に対し家賃借上げ費を補助します。 新たに設置する宮前公園の整備に合わせた公共施設の順次更新による旧小台橋小学校の除却に伴い、小台橋あさがお作業所を荒川図書館及び旧教育センターに一時的に移転しています。令和2年度に新尾久図書館が開館した後、現尾久図書館を改修の上、本移転し、就労の場を確保します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
作業所支援の実施	実施	実施	実施	実施
家賃借上げ費補助の対象施設数	9 施設	11 施設	12 施設	12 施設
荒川図書館・旧教育センターへの一時移転	一時移転中	本移転	-	-
現尾久図書館への本移転	工事着工	工事竣工 運営開始	→	

事業名	障害者福祉会館（アクロスあらかわ）運営事業による交流促進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 文化・スポーツに関わる活動を地域に知っていただき、障がいのある方もない方も同じように参加できるよう活動の幅を広げ、障がい者が地域社会と交流できる場としていきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
アクロスあらかわ利用者数（延べ）	※1 12,474 人	※1 21,705 人	※1 37,766 人	※1 65,000 人

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和3年度以降は徐々に回復を見込む。

施策名

「障がいのある子どもの健全育成」



目的・方向性

障がいのある子どもや、発達に関して療育を必要とする子どもが、それぞれの状況に応じて必要な訓練や適切な支援を受け、その子の持つ可能性を広げ、将来の見通しを立てることで、保護者も安心して子育てできる環境の整備を進めます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
たんぽぽセンター在籍者数	210人	213人	220人	225人	250人
児童発達支援利用者数	236人	247人	258人	269人	307人
放課後デイサービス利用者数	214人	223人	232人	241人	271人

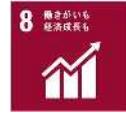
重点事業 (計画事業)

事業名	障がいのある子ども等に対する療育・相談の充実				
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児等が、福祉・医療・発達・訓練・教育等に関する問題解決を図れるように援助するとともに、地域での社会参加を支援します。 障がいがあると思われる就学前の乳幼児を対象に、その障がい状況並びに養育環境に応じて適切なサービスを提供するよう努め、児童発達支援センター設置の必要性等の検討を進めます。 障がい児通所支援事業所連絡会や研修を開催し、課題や解決策等の共有を図るとともに、家庭や関係機関等との連携を促し、児童通所事業における療育の質の向上や環境の整備を進めます。 				
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
たんぽぽセンター在籍者数	210人	213人	220人	225人	
放課後デイサービス利用者数	214人	223人	232人	241人	

事業名	障がいのある子ども等に対する教育環境の整備			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> これまで以上に保護者の気持ちに寄り添い、子どもの立場に立った就学相談を実施し、子どもにとって適切な「教育の場」を保護者が選択できるよう支援していきます。 区立小中学校全校に「特別支援教室」を導入し、これまでの情緒障がい等通級指導学級での指導が全ての小中学校で受けられるよう、環境を整備します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
就学相談実施件数	150件	160件	165件	170件
特別支援教室拠点校数(小学校)	4校	4校	5校	5校
特別支援教室拠点校数(中学校)	1校	1校	1校	1校

施策名

「バリアフリーの推進」



目的・方向性

誰もが安心して安全に過ごすことができるバリアのないまちを目指すとともに、障がいや高齢などを理由とした差別のない「心のバリアフリー」が進んだ社会の実現に向け、取組を強化します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第2期)			基本計画 最終年度
	2年度	3年度	4年度	5年度	8年度
道路のバリアフリー化 ^(※1)	51%	53%	55%	57%	59%
公共施設のバリアフリー化 ^(※1)	65%	65%	65%	66%	66%

※1 バリアフリー基本構想に示した道路及び公共施設の特定事業計画の着手率。

重点事業 (計画事業)

事業名	障害者差別解消法の啓発 等			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者への合理的配慮について民間事業者に対する意識づけを行うなど、啓発を進めます。 区職員による窓口での合理的配慮を徹底し、新人研修、昇任研修時に研修を実施する等、心のバリアフリー実現のため率先して行動します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
障害者差別解消法の啓発	民間事業所が行う合理的配慮の取り組みに対する支援	民間事業所が行う合理的配慮の取り組みに対する支援	民間事業所が行う合理的配慮の取り組みに対する支援	民間事業所が行う合理的配慮の取り組みに対する支援
合理的配慮等に関する職員研修の充実	実施	実施	実施	実施

事業名	バリアフリー整備促進事業の推進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会の適切な運営を通じて、各重点整備地区の基本構想に定めた特定事業計画の進捗状況の管理及び利用者の意見等を反映し、区域全体のバリアフリー化を図ります。 区の関連部課等と連携し、心のバリアフリーを推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
特定事業計画の進捗状況管理及び利用者意見等の適切な反映	バリアフリー基本構想の更新	実施	実施	実施
推進協議会の開催	実施	実施	実施	実施
区民等への啓発	区ホームページにて掲載	実施	実施	実施